



# ひらかたヘルパー通信 《第13号》



\* 枚方市訪問介護事業者会には 103 事業所が加入しています (2018年6月21日現在) \*

発行年月日

2018年7月1日

枚方市訪問介護事業者会

会長 今岡 望

広報：中西・二井・福留

事務局（ぐっどケア／松久保）

枚方市山田池東町 21-1-104

TEL 072-866-0881

平素は当会にひらかたならぬ御愛顧を賜り、ありがとうございます。  
先の総会におきまして、役員改選により新たな顔ぶれとなりました。  
一年間どうぞお付き合いのほど、宜しくお願いいたします。



枚方市 ひこほしくん

## スローガン

## 受け継がれて10年目

## ～地域に根差した訪問介護～

今号の内容は・・・

- 新役員紹介／会長就任二年目の挨拶
- 第10回通常総会 及び 第1回『研修会』の報告
- 第2回「研修会」 及び 第1回《楽集会》の報告
- 私たちのまちの事業所紹介「事業所リレー」
- 読者コラム ～ヘルパーしゃべり場～
- 案内（研修）予告 / 編集後記

今回の地震で被災された方々に、謹んでお見舞い申し上げます。  
一日も早い復旧と被災された方々が日常生活に戻れますようお祈り致します。

枚方市訪問介護事業者会 役員一同

# 2018年度・新役員紹介

## - 会長就任二年目挨拶 -



このたびの大阪北部における未曾有の震災に際し被災された多くのご利用者、ご利用者家族、並びに事業所各位、その従業員の皆様に心よりお見舞い申し上げます。

今回の震災をうけて、不意にその記憶がフラッシュバックし、心が不安定になることもございます。そのため長期にわたり利用者の心身のケアが必要であると認識しており、私たち事業者やヘルパーにできる事をしっかりと継続していきたいと強く願います。

当会では、昨年9月に災害対策として枚方市危機管理室の市職員及び民間事業所の管理栄養士の方を招いて「災害がおきたとき、私たちにできること」の研修を実施したところではあります。引き続き気を引き締め、今後も意義のある研修や活動を行って参りたいと考えております。

また今年当会は、10周年の節目を迎え、枚方市にお住いの高齢者の方々が、いつまでも安心してこの町で暮らし続けていけるように支援していく役割を再認識し務めてまいります。今年度もどうぞよろしく願いいたします。



会長  
一般社団法人 CREDO  
ヘルプケア・クレド  
いまおか のぞむ  
今岡 望

### 副会長（広報担当付）

### 副会長（研修担当付）

### 事務局長



NPO 法人ハートネット  
中西 純子



おでかけ  
藪内 充俊



ぐっとケア  
松久保 勇樹

事務局次長（書記担当付）



関医ヘルパーステーションくずは  
豊田 理恵

幹事（広報担当）



日本介護医療センター枚方事業所  
二井 淳子



ぽぷら枚方公園  
福留 はなえ

幹事（研修・楽集会担当）



マイハート  
廣田 旬平



訪問介護ステーションみどり  
中井 正人



かなえケアサービス  
牟田口 定秋

会計



アベール咲  
崎高科 美和子

会計監査

ひよどり介護サービス  
迫田 貴子

顧問



枚方市長寿社会部  
地域包括ケア推進課  
中田 未希

どうぞよろしくお願ひいたします。

枚方市訪問介護事業者会 役員一同



# 第10回通常総会



《御来賓の皆様》



枚方市長 伏見 隆 様



枚方市長寿社会部  
地域包括ケア推進課  
課長 矢野 様



枚方市介護支援専門員  
連絡協議会  
会長 遠竹 光子 様

平成30年4月16日(月)13時15分より『枚方市訪問介護事業者会 第10回通常総会』を開催。出席32事業所、委任状47事業所の合計議決権行使数79事業所で会員総数(総議決権数)の過半数を超え、全ての議案が承認され、無事終了いたしました。会員事業者の皆様には厚くお礼を申し上げます。

## 第1回研修会 ～コーチング研修～

～質問の力で、相手の可能性を引き出し、自分の可能性を引き出す～

【2018年4月16日(月)14時～16時】 参加者数：26事業所

講師：小池 麻由子氏【(株)ケア21 西日本施設介護事業部マネージャー社内コーチ】



○『良い質問は良い答えを導き出す』

⇒良い人材を開発し育成する時に使えるコミュニケーションツールの1つがコーチング

○相手の話をよく聴き(傾聴)、感じた事を伝えて認め(承認)し、話す(質問する)

⇒自発的な行動を促す事が出来ます。

・・・参加者の声・・・

- 今まで質問する事に対して、そこまで意識もしなかったです。気持ちを上げる質問方法は知らなかったので勉強になりました。
- 誰かに質問する時も、又自分の抱えている問題に取り組む時も役立つと思います。
- コーチング研修を初めて聞きました。質問の方法を変える事で問題点の解決や詳細が高まる事が分かって面白いと思いました。



# 第2回 研修会 「生き残れる事業所づくり」

～業務の見直し、そして発想の転換を～



講師：泉谷 功 氏（介護労働安定センター大阪支部/特定社会保険労務士）



2018年6月12日（火）14時～16時【参加者：25事業所（28名）】

今回の研修では、総合事業の導入や度重なる制度改正のなか、経営は厳しくなる一方で、生き残れる事業所にするためのアドバイスをいただきました。「確実に処遇改善加算Ⅰを取得しよう」、「介護保険のサービスで賄いきれない利用者のニーズに応えるため、介護保険外の自費サービスを活用して他事業所との差別化を図ろう」。そして「各種助成金について」等々、明日からでも挑戦できる身近な提案が盛りだくさん。他、実地指導にも詳しい泉谷先生ならではの裏話など、あっという間の2時間でした。



・・・参加者の声・・・

- 自費サービスについて、具体的でわかりやすかったと思います。
- 処遇改善加算の使い方、キャリアパスのことが理解できました。



## ～第1回 楽集会～ 少人数で学ぶ新しい学習会(楽集会)を開催中！

今回は『自立支援って何なのか？』原点に戻って様々な現場の意見が出ました。

2018年5月23日(水) 18:30スタート 参加者 10名

内容を一部ご紹介！



- ・自立支援を意識したサービスを提供していますか？
- ・生活援助における自立支援って何？「老計第10号」の新旧を比較。改正後は見守りの援助項目が明確化。
- ・本人が出来る事をヘルパーがやってはいけない。人間は人に認められたい生き物、上手に言葉を掛ける事が自立支援につながる。
- ・本人の自立に家族がどうかかわっているのか？家族が出来る事をヘルパーがやってはいけない。家族の輪を崩してはいけない。
- ・ヘルパーの専門性を追求していく事が自立支援に繋がる。

# 事業所ルー！！第3弾！！



このコーナーでは、枚方市内にある訪問介護事業所にインタビューを行い紹介します！！  
また最後には、次のインタビューを受けて下さる事業所を紹介していただく『リレー方式』です！

今回は『**里仁館居宅サービス事業所(訪問介護)**』のご紹介です。

事業所所在地 〒573-0001 枚方市田口山2丁目5番1号 Tel 072-856-8585 (直通)



山田さん 野阪さん

## Q1. まず始めに、サービス提供責任者のお二人の介護歴は？

A1. 【山田さん】平成15年に登録ヘルパーとしてスタートしました。その後、パート職員⇒常勤サ責⇒そして現在は副主任1年目です。  
【野阪さん】登録ヘルパーとしてスタート。パートを経て、現在は常勤サ責です。トータル16年目になります。

## Q2. 勤続年数が長いお二人ですが、長く勤められる里仁館の魅力は？

A2. “会社として、きちんとしている所”。“皆さん穏やかで働きやすくチームワークが良い”。“ヘルパー同士もコミュニケーションがとれています”。“自宅から近いのも魅力の1つ”です。

## Q3. 利用者数、可動時間はどれくらいですか？

A3. 介護保険ご利用の方40名、障がいのある方が18名です。  
事業所も多く利用者数は減少傾向です。  
稼働時間は7:00～22:00頃、朝と夕方に訪問が集中しています。



## Q4. ヘルパーさんの人数や年齢層を教えてください。

A4. 登録ヘルパー10～13名。離職率が低く50代の10年選手が多いです。  
70代の方も頑張っています。  
嬉しい事に20代も1名います。サ責は3名、非常勤2名でシフトを組んでいます。



## Q5. 今後の展望をお聞かせ下さい。

A5. 家事にまつわる仕事が多いからか!?!、在宅ヘルパーを選択する若い方は少ないです。利用者様も入院からそのまま施設入所される方が多く、在宅で長く暮らす方が少なくなって来ましたが、やはり利用者様を増やし、それに伴いヘルパーの人数確保が出来たらと思います。



次回の事業所紹介は・・・  
ニチケアセンター招堤さんに伺います！

テーマ

私の新人エピソード

～読者コラム～

そんな事あったなあ～

ヘルパー  
しゃべり場

新人の頃はインターフォンを押す時もドキドキし、仕事でも余裕がなく、後からちゃんとできたかな？忘れ物ないかな？と不安だった事を思い出します。今でも新規の方のお宅は緊張しますが初心を忘れず頑張ろうと思います。

☆ ばたばたこさん ☆50代 ☆女性

初めてヘルパーで働きに行った時、研修で行く所を先輩に教えて頂いて、いざ当日まさかの3人中2人が入院となり、急きょ研修先が変更になりました。色んな意味でバタバタしたのを覚えています。高齢者宅への訪問、色んな事があるんだな…と改めて思いました。☆ Mさん ☆40代 ☆女性

入社当初、右膝に水が溜まり足を引きずり歩いていると「一寸待っとき！」と自分の部屋に戻り湿布を持って来て下さり、嬉しくて涙を流した事を思い出します。「大丈夫？」と心配の声も沢山掛けて頂きました。

☆ Mさん ☆60代 ☆女性

入社当初、ある利用者様から拒否され冷たく当たられました。とても辛かったですが、根気よく関わっていくうちに次第に利用者様から話しかけて下さるようになりました。今では笑顔では話して下さい必ず「ありがとう」と言って下さいます。

☆ Rさん ☆30代 ☆女性

デイサービスのレクレーション担当を初めてした時、50人程の利用者様の前で自己紹介・ゲームの説明をしていると…遙か向こうの方でプラカードを振っているOT！そのカードには「もっとゆっくり」と書いてありました。私は「あっ！」自分が緊張しているんだと気が付きました。緊張している事にも気づかない程、緊張していた初々しい自分がいた事に懐かしさを感じる今日この頃です。

☆ クマちゃん ☆50代 ☆女性

感謝の言葉を頂いていた利用者様から「台所の物品がなくなった…来週からケアは中止して下さい」と言われました。元の位置に戻しておく、ちょっとした声掛けが必要でした。信頼を継続する大切さ・難しさを改めて感じた出来事でした。

☆ まっつん ☆50代 ☆女性

重度の心疾患をもっておられるK様の生活援助に入る事になった。調理中心の家事全般のサポートで毎日時間内にそれをこなすだけでいっぱいでした。ある日、退室時間が迫った中でバタバタ調理をしているとK様が台所に来られ「わしの事を家族とってくれたらいい。わしもMさんを家族と思って有難く頂く。お互い気楽に行こうや」ととても優しい笑顔で話して下さい。私の緊張は一気に解けました。新人の私を気遣って下さったK様の暖かいお言葉は忘れる事なく今でも私の活力となっています。

☆ Mさん ☆50代 ☆女性

調理で伺った際「親子丼を作って欲しい」と依頼がありました。利用者様の所へ持って行った後で、味見をするのを忘れた事に気付き確認した所…と～ってもしょっぱい！砂糖と塩を間違えたのです。すぐに利用者様の所に行き謝ったところ「美味しいよ…」と仰って下さいました。本当に申し訳なく思いました。信頼関係があったからこそ許された事です。この事があってからは間違える事はなくなりました。☆まるお ☆30代 ☆女性



## 《案内予告》

### 1. 第2回楽集会 「災害対策～その時、あなたはどうする～」

日時：2018年7月13日（金）18：30～20：30

場所：ぽぷらメディカルサービス枚方公園事業所（徒歩・自転車・バイクでお越しください）

定員：15名（先着順）

参加費：無料（会員事業所） ※未加入の事業所は当日加入でご参加出来ます。

### 2. 介護実技講習会 ～自分の介護をみつめ直す機会に～

日時：2018年9月8日（土）

午前の部 9：00～12：30 / 午後の部 13：30～17：00

内容：（午前）更衣介助・整容 / （午後）移動・移乗

場所：ぐっとケア So-La（徒歩・自転車・バイクでお越しください）

定員：午前、午後の部ともに、各20名（定員を超えた場合は抽選になります）

参加費：無料（会員事業所） ※未加入の事業所は当日加入でご参加出来ます。

持ち物：動きやすい服装・上靴・お茶・タオル・筆記用具

※お問い合わせは、事務局（072-866-0881）まで

#### 《編集後記》

今春、当会において枚方市内の訪問介護事業所を対象にアンケート調査を実施しました。

その結果の一部をここでご紹介します。ヘルパーの平均年齢は52.6歳。「2025年に現在雇用している非常勤職員（ヘルパー）がどのくらい残ると予想するか」との問いに『1～3割』と回答した事業所が最多でした。また「事業所が現在抱える一番大きな問題は」との問いに『職員の確保』と回答した事業所も最多でした。ここからも「人手不足」、「ヘルパーの高齢化」が明々白々な事実と言えます。

2025年の更にその先、2040年。日本はどうなるのかを想像してみるに、ひとつ総務省がまとめたデータが参考となります。そこには、高齢者人口は約3,800万人とピークを迎えること。そして、高齢化率は36%まで上昇すると記されています。一方、生産年齢人口は約5,700万人、14歳以下は約1千万人、総人口は約1.1億人にまで減ると予測されています。つまり、働き手は今より約1,800万人減り、高齢者は約500万人増えるとのこと。

そのような中、5月21日官邸において開かれた「第6回経済財政諮問会議」で大変興味深い資料がいくつか提示されました。そこには、2040年には医療福祉分野の就業者数について、現在より約245万人増（+6.4%）。また社会保障費は現在より69兆円増（GDP比+2.5%）にと、どちらも大きく増加すると見通しが示されています。あくまでこの数字のような希望的観測に基づいた将来の見通しではなく、実現可能な政策にするための課題分析や議論はまだ始まったばかりです。

超少子・超高齢社会である我が国の豊かな未来を描くためにも、私たちヘルパーは日々の仕事を通じて介護職の「魅力」と「誇り」を後世に引継ぐことが求められます。

私も微力ながらそれまで現役ヘルパーとしてその一翼を担えればと考えます。（今岡 望）